

年癸未八月三日、照蓮寺門徒飛州益田郡上檜郷。舳腹願主釋西了。按ブルニ、上檜今作上呂、舳腹未考實如ハ蓮如ノ子、開山親鸞ヨ

リ九世也、大永五乙酉二二宗寂、

〔飛州志八〕文書連署三塚富國房氏

古河郷南本郷之内みそむかひ名田之事

同寺○大野郡夏厩村蓮徳寺藏

合貳段之所

三郎五郎 差すて依申ニこきり左近三郎ニ過分之御年具之未進、つく田五斗之分引替依申ニ、

未代御預可及、若於未代沙汰申者あらば、彼之以狀可沙汰者也、就其禮貳貫文仍狀如件、

時 大永八年れつちの十月廿日

三塚富國 花押

房氏 花押

〔飛州志八〕文書金森長近源姓五郎入道兵部卿法印素玄

大野郡牧戸村河尻氏藏

令扶助所々目錄之事

一五拾五石三斗壹升 廣瀬郷之内 上廣瀬村之内 一廿壹石 高原うれ之郷内、たころけ村

一廿五石三斗 大八賀郷 岩井村之内

合百壹石六斗壹升 山林之内用木除之

右全可知行之狀、如件、

天正拾五十二年十二月十三日

素玄 花押

河尻勘平殿

〔玄同放言二〕飛驒三枝

飛驒國大野郡に三枝郷あり、三枝みつえ郷内に五个村あり、その三个村を上切、中切、下切と唱ふ、

中切村に高山より巨樹あり、程遠き處といふとも、この樹の見えざるはなし、さる古木なれども、